

様式2(姨捨)

(様式2)新規評価シート		建設部 道路建設課			
事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(一)内川姨捨(停)線	
事業毎の通番	10	市町村名	千曲市	箇所名(ふりがな)	姨捨(おぼすて)
事業目的	本路線は、長野自動車道姨捨SAにスマートインターが設置されたことに伴い、そのアクセスによる交通量が今後増加することが見込まれる。また、周辺には、日本三大車窓に選ばれた姨捨駅や、国の「重要文化的景観」、「日本の棚田百選」に選ばれた田毎の月等の観光地があり、多くの観光客が訪れる。しかし、当該箇所は幅員狭小で車両のすれ違いに困難を極めているため、道路拡幅工で2車線を確保し走行の安全を図るとともに、姨捨周辺の観光地の誘客を促進し地域の観光を支援する。				
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法		
関連する事業、計画等	千曲市地域公共交通総合連携計画、姨捨スマートインターチェンジ				
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：3,994台/日				
着手年度	平成29年度	事業期間	8	事業費(千円)	財源内訳(千円)
完成年度(見込み)	平成36年度	費用対効果	1.8	国庫	その他 県債 一般財源
全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=150m、W=5.5(7.0)m			300,000	270,000 30,000
28年度事業内容(主な工種)	道路設計 1式			2,000	1,800 200
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	ボトルネック部の解消 走行時間・経費等の減少			
	間接的効果(定量的・定性的)	観光支援による地域活性化 地域間交流の促進			
評価の視点	必要性	○計画自動車交通量：3,994台/日 ○代替道路の有無：代替道路があるが安全性が低い ○交通結節点アクセス：姨捨駅、姨捨スマートインターへのアクセス道路 ○生活支援：姨捨(田毎の月)へのアクセス整備			評価 A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：姨捨SICフル規格化、千曲市地域公共交通総合連携計画 ○緊急輸送路の路線指定：避難経路道路(姨捨駅、姨捨SIC) ○地域指定：信越観光圏(千曲市)			評価 B
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.80 ○事業期間：8年間(H29~H36) ○工法等の比較検討：コスト削減に関する工法比較検討を今後実施 ○他事業との連携：姨捨SICのフル規格化(千曲市)			評価 C
	緊急性	○近年の交通事故件数：なし ○渋滞及び騒音・振動の緩和：姨捨SIC、姨捨駅の渋滞が緩和される(移動性阻害箇所の解消) ○歩道整備：歩道整備は行わないが、拡幅により歩行者の利便性が向上する ○現況の幅員、半径、勾配：狭小部幅員3.5m			評価 C
	計画熟度	○事業情報の共有：地元役員を中心に周知。 ○地域の取り組み：協力的である(地域づくり懇談会(H28.8)) ○地域の合意形成：地元役員に事業計画を説明(H28.9) ○住民との協働：沿道の美化活動等を行っている。			評価 B
	部意見	事業の必要性が高いため、平成29年度から事業化した。	行政改革課意見	現道は幅員狭小で、円滑な交通に支障をきたしていることから、必要性が認められる。	評価結果 ○

事業概要説明図表	
位置図	
交通状況	 <p>道路横断面の構成</p> <p>全幅7.0m 車道5.5m 現況W=3.0(4.0)m</p>
平面図	
①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(一)内川姨捨(停)線は、千曲市内と姨捨スマートインターチェンジや姨捨駅を結ぶ道路機能の強化、およびボトルネック部分の渋滞解消が課題となっており、安全で円滑な道路ネットワークの確保及び、姨捨周辺の観光地支援のための道路整備が、地域から強く求められている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	H28.8 千曲市地域づくり懇談会から毎年要望あり。
③事業説明等の経緯	H28.9 地元役員に事業計画を説明し事業目的について合意を得ている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	・姨捨スマートインターチェンジのフル規格化について千曲市で検討中。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	・ボトルネック部の解消により、騒音・排気ガスの削減を図る。
⑥地域活性化への影響と配慮	・姨捨SICや姨捨駅からの利便性向上による暮らしやすい生活環境の形成、観光地へのアクセス向上による地域産業への支援効果が期待される。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 30'01.5" 東経:E 138° 05'46.8"